

hap·py

→ go

→ luck·y

【ハッピー・ゴー・ラッキー】

形 〈人の行動が〉のんきな、気楽な。

名 10代におくるブックガイド。

はぴ  47 号

2020年1月発行

【編集】はぴ編集委員会

【発行】さいたま市立中央図書館

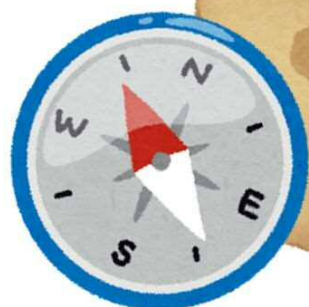
浦和区東高砂町 11-1

TEL 048-871-2100

FAX 048-884-5500

<https://www.lib.city.saitama.jp/>

QRコード



冒険

ヲ読ム



『冒険の書』

みなみ や ま りん 作 山と溪谷社 2016年



19歳でエベレスト登頂を果たした大学生が、「七大陸最高峰」を踏破するまでの体験を書いた本。著者は、登山に必要な資金も自分で調達した行動力溢れる人物です。

崩れ落ちやすい氷河の傍を通ったり、登山者の遺体を見てしまったり、嵐で飛ばされないよう何時間もテントを支えたりと、登山は楽しいことばかりではありません。それでも山は自分を見つめ直すことができる場所と信じて、登山に挑戦し続けた著者の言葉が勇気を与えてくれるはず。

『旅する動物図鑑 2 空の生きもの』

筑摩書房 2019年



和歌山県から海を渡って約2500km離れた香港まで移動する蝶や、1年の中で北極圏と南極圏を往復して5万kmも飛び鳥がいることを知っていますか。本書にはそんな、驚くような空の旅をする動物が集められています。彼らが長距離を移動するその理由や方法、経路などの情報が盛りだくさん。科学者がどのように調査しているのかもあわせて知ることができます。空を旅する動物たちの姿は、きっとあなたの想像を超えてくること間違いなし。

『裏庭』

梨木 香歩 作 新潮文庫 2001年



荒れ放題のバーズ屋敷は、近所に住む子どもたちにとって格好の遊び場だ。だから、忍び込み方も、屋敷に何か秘密があることも、みんな知っていた。

両親とすれ違い孤独を抱える少女・照美は、引き寄せられるように足を踏み入れた屋敷の大鏡から、秘密の「裏庭」へと入り込む。そこは、「コロウブ」や「マボロシ」たちが暮らす不思議な世界。テルミィと名乗った彼女は、元の世界に帰るため、バラバラになった竜の骨を探し冒険の旅に出た。

『ローワンと魔法の地図』

エミリー・ロッド 作 さくま ゆみこ 訳 あすなろ書房 2002年



体が小さく臆病な少年のローワンは、村で家畜の世話をして暮らしていた。ある日突然、村の川の流れが止まってしまう、水を飲めない家畜が弱り始めてしまう。村人たちは原因を探るため水源がある「禁じられた山」へ向かうことを決める。手がかりとなるのは魔法でローワンにしか読めないようにされた地図だけ。彼は村の勇者6人と共に「禁じられた山」を目指すことになる。

ローワンは怖がりながらも先へと進む勇気を示し、村の危機を救うことができるのか。

『冒険する建築』

伊東 豊雄 作 左右社 2017年



私たちの身の回りにある建築は、その多くが垂直と水平に交わるラインで作られていることでしょう。しかし、この本で紹介するのは、まわる建築、うねる建築、揺れる壁などなど、言葉だけでは伝えきれない建物ばかり。建築家である著者が「新しい建築を作ることはいつもワクワクする冒険」だと語る通り、多くのワクワクする建築に写真で出会うことができます。写真で見ただけではなく、実際に訪れてみたくなる、そんな一冊を是非ご覧ください。

『リヤカーマン、歩いて世界4万キロ冒険記』

永瀬 忠志 作 学研 2008年



永瀬忠志さんはリヤカーを引き世界中の砂漠やジャングルなどを旅する冒険家です。30年間で、なんと地球一周分の4万kmを歩きました！

マラリアになったり、気温54度の場所を歩いたり、食料や水を積んだりリヤカーを盗まれたりと、旅はつらいこともたくさん。そのたびに「もう、やめて、帰りたい！」と弱音を吐きながらも歩き続けるのです。

わずかな一歩でも、積み重ねていけば大きな成果につながっていく。そんなことを教えてくれる「リヤカーマン」の旅の記録です。





第6回ビブリオバトルはぴの陣が開催されました



『青春ブタ野郎はバニーガール先輩の夢を見ない』

鴨志田 一作

KADOKAWA 2014年

令和元年7月26日(金)に、今回で6回目となる知的書評合戦ビブリオバトルが中央図書館で開催され、市内の中高生5人がバトル(参戦者)として、本の魅力(みりょく)を5分間のプレゼンテーションにより(しょうかい)紹介しました。

今回のテーマは「冒険」。

投票により『青春ブタ野郎はバニーガール先輩の夢を見ない』がチャンプ本に選ばれました。

高校生の咲太(さくた)が出会った、バニーガールの恰好(かっこう)をした先輩・麻衣(まい)は、思春期の不安定な精神状態が原因で起こる透明化現象(とうめいかげんしょう)により、周囲の人たちから見えなくなっています。咲太は麻衣のために、定期テストの勉強をせず解決法(かいげつ)を考えたり、彼(かれ)が住む神奈川県から岐阜県まで出かけたりします。

バトルによると、この本における冒険とは、進学や自分の将来(えいきょう)に影響(えいぎょう)が出るかもしれないのに、大切な人を助けるために行動することのことでした。

そのほかのバトルにより紹介された本

『都会のトム&ソーヤ』

はやみね かおる 作 講談社 2003年

『パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々』

盗まれた雷撃(ぬす ライトニングボルト)

リック・リオダン 作 ほるぷ出版 2006年

『リバーズ』

湊 かなえ 作 講談社 2015年

『よるのばけもの』

住野 よる 作 双葉社 2016年



今号は「冒険」をテーマに本を紹介しました。

旅(なほ)をすること、謎(なぞ)を解くこと、未知の場所を訪れること、斬新(ざんしん)な発想(はつしやう)をすること。あなたにとっての冒険(ぼうけん)を探してみてください。



※ビブリオバトルの様子を、図書館ホームページの「10代のページ」(けいさい)に掲載しています。

次回
予告

はぴ48号(4月発行)のテーマは「トリック」です。

このブックガイドは2,000部作成し、1部あたりの印刷経費は3円(概算)です。

